

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500



●2014-2015年度RIテーマ  
**LIGHT up ROTARY**  
ゲイリーC.K.ホアンRI会長  
●第2510地区重点目標  
RIテーマ「ロータリーに輝きを」  
を推進しよう

55年の歴史の蓄積の上に立って  
ロータリーにさらなる輝きを

●再来週 4月17日(金)のプログラム

◎「平成26年度補正・27年度国家予算の小樽経済への波及効果」  
岡田 一則氏(北海道財務局小樽出張所所長)

●来週 4月10日(金)のプログラム

◎ゲストスピーカー  
穴沢 真氏(小樽商大国際交流センター長)

●今週 4月3日(金)のプログラム

◎「平成27年度税制改正企業・家計・個人への影響」  
鈴木 崇史会員(税理士法人中央会計事務所社員税理士)

**37**

通巻 第2693号  
2015年4月3日発行

1960年創立  
昭和35年2月5日

●第36回例会報告

2015.3.29(SUN) 会場：蘭越町ふれあいプラザ21

2014-2015年度 国際ロータリー第2510地区第6グループ  
**Intercity meeting**  
— 都市連合会 —



●講演  
「ロータリークラブに  
ついての基礎的知識」

講師 佐世保RC 福田 金治氏

●パネルディスカッション  
テーマ「ロータリーの魅力とは何か」

コーディネーター 第6グループガバナー補佐 志比川 武氏  
アドバイザー RI第2510地区ガバナー 羽部 大仁氏  
アドバイザー 佐世保RC 福田 金治氏

昨年から小樽市において、「音読カップ」(小樽市教委主催、小樽RC後援)と「子どものポエム大賞」(小樽市教委/絵本児童文学研究センター 主催、小樽南RC 後援)の二つのコンクールが小中学生を対象にして開始された。それらは、未来を担う子どもたちのために、企画されたものである。この二つの重要な企画について、個別ロータリーの壁を越え、小樽RC及び小樽南RCが共同歩調をとったことは、

今後のRC運動に大きな可能性を示したことは事実である。

今回の企画の背景には、音読授業の低下がある。声を出すこと、特に子どもたちにとっては重要な意味がある。紙面の関係上、発達心理学などの学問的世界を駆使して展開するこ

●小樽南RCパネラー  
工藤 左千夫 幹事





とができないこと、それについてはお許し願いたい。ただ、音読については教科書を利用して行うものであり、結果として優等生がその賞に入りやすいことも事実。それに比してポエムコンクールは優等生云々の壁はない。それを保障するためには「テーマ」を主催者が決めないことが肝要。あくまで書き手の自由な裁量が要求される。

この二つの重要性を認識し、それらを積極的に同時に取り組んでいる市町村を筆者は知らない。そしてその取り組みについて一教育委員会及び一団体の壁を越えて協力体制ができたことは望外の喜びでもあ

る。そして2月に行われた3クラブ合同例会では、「音読」「ポエム」の受賞者が父兄に伴われて出席し、ロータリアンの前で堂々と朗読したことは、今まで述べてきた事柄に対する答えであり、極めて重要な成果であった、と自信をもって述べることができる。

文化を通じた地域の発展に、今後も取り組んでいくことはロータリの重要な使命の一つであり、そしてそれらを継続・発展させることこそ、豊かな土壌を培う唯一の方法であると考え。ただ、土壌を培うためには気の遠くなるような時間が必要。その時間に耐えるのもロータリアンなら可能と考える。

- 次期ガバナー補佐紹介 志比川 武 第6グループガバナー補佐  
齋田 義孝 次期第6グループガバナー補佐



- 加藤正幸 次期開催地会長挨拶
- 廣部隆夫次期開催地会長エレクト挨拶

### ●懇親会

会場：町民センター・らぶちゃんホール



# 懇親会スナップ写真

- メーキャップ受付 3月27日(金)分  
久末 智章氏、船山 秀樹氏、宮本 孝雄氏、下中 博文氏、海老名 健氏、泉 侑氏 (小樽RC)